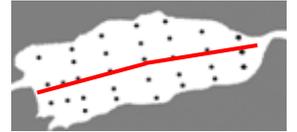


2023年9月 宍道湖 塩分・溶存酸素

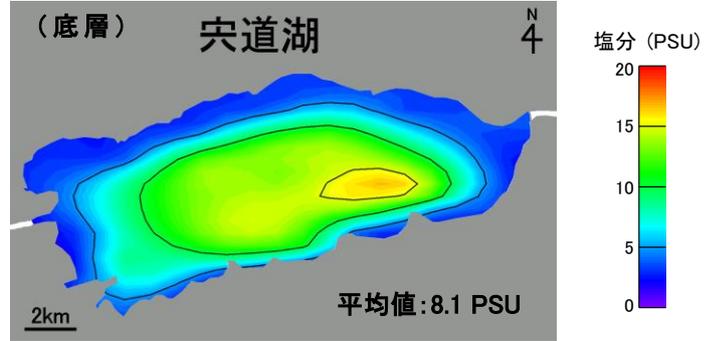
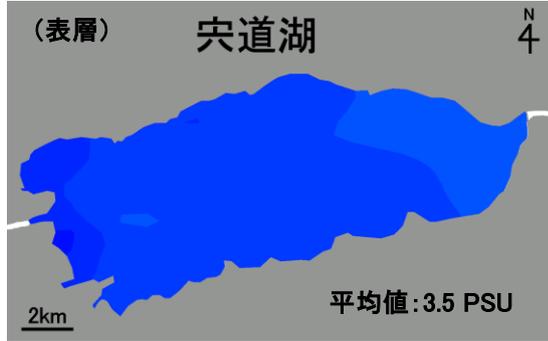
水域	調査日	天候	海況	水温 (表層平均)
宍道湖	2023年9月1日	曇り時々雨	西南西 1~2 m/秒 → 南 2~3m/秒	30.6℃

● 調査地点 — 鉛直ライン



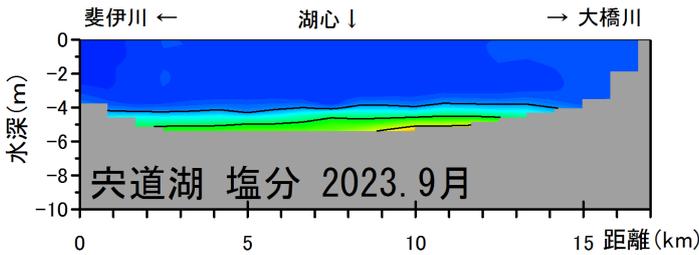
調査定点図

● 塩分 水平分布 (表層:左、底層:右)



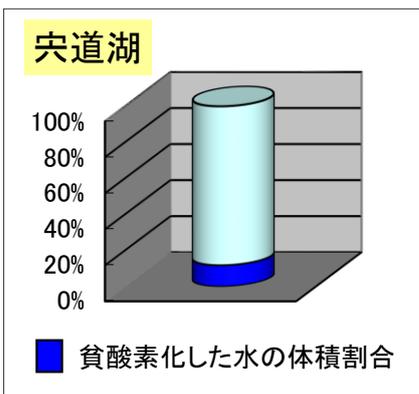
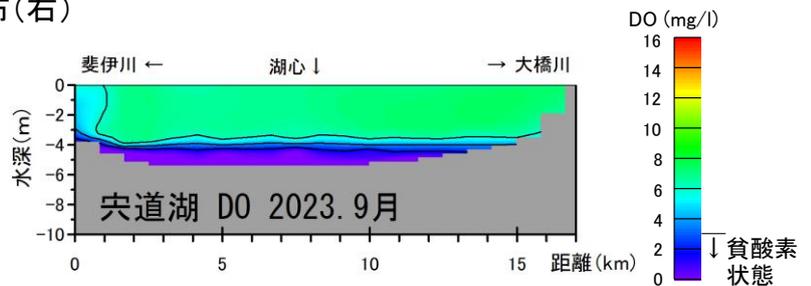
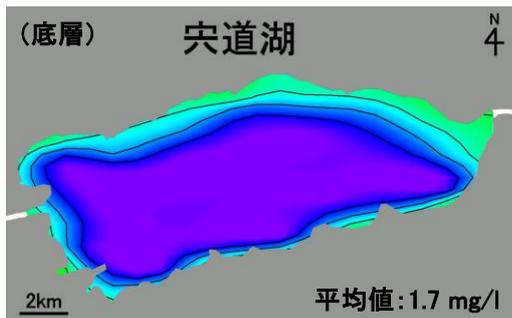
※塩分濃度のスケールは2020年6月より変更となっています。過去と比較する際はご注意ください。

● 塩分 鉛直分布



塩分の値は、表層では宍道湖全域でほとんど差はみられませんでした。底層では、水深4m付近で塩分躍層が確認され、5m以深の地点で高い値を示しました。特に玉湯の沖合では15PSUに迫る値でした。平年値と比較すると、表層は平年並み、底層は平年より高くなりました(『R5年度水質状況』を参照)。

● 溶存酸素 水平分布(底層:左)と鉛直分布(右)



溶存酸素濃度は、宍道湖全域において、水深4m以深の層で低い値を示しました。3mg/l未満の貧酸素水の体積割合は11.8%で、湖底面積の68.8%が貧酸素化していました。貧酸素水体積割合は、先月に引き続き平年値を大きく上回り(『R5年度水質状況』を参照)、過去21年間の本調査における最高値となりました。これは、塩分躍層の形成により、湖底の成層化が助長されたためだと推測されます。

● R5 年度水質状況

